



平成25年 4月 3日

国土交通省中部地方整備局  
飯田国道事務所

長野県伊那建設事務所



# 伊南バイパス（本郷～町道堂前線） ～ 開通から3ヶ月、開通の効果現れる ～

## 1. 概要

国道153号伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線（飯島町飯島））延長約2.4km）が平成24年12月22日（土）に暫定2車線で開通しました。

今回、開通後3ヶ月の利用状況と開通効果についてとりまとめましたのでお知らせします。

### ◆利用状況◆

開通3ヶ月後の交通量は1日あたり約3,900台利用されており、現道153号から交通が転換しました。

### ◆開通効果◆

#### ①救急医療活動の支援

消防署から現地への現場到着時間、現地から病院への搬送時間が短くなりました。

#### ②安全な交通の確保

急激な起伏やカーブが多く、冬期の走行にも課題があった区間を回避することが可能になりました。

また、現道での事故による通行止めの際にもバイパスが迂回路として機能しました。

## 2. 資料

- 別紙1：伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）開通区間の概要
- 別紙2：伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）利用状況
- 別紙3：伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）開通効果①（救急医療活動の支援）
- 別紙4：伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）開通効果②（安全な交通の確保）

## 3. 記者発表資料 配布先

長野県庁会見場、伊那市役所記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブ

## 4. 問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所

副所長 坂地 光博

調査設計課長

鈴木 克章

TEL 0265-53-7204

FAX 0265-53-7211

長野県伊那建設事務所

企画幹兼整備課長 猿田 吉秀

TEL 0265-76-6848

道路の異常を発見したら・・・道路緊急ダイヤル #9910

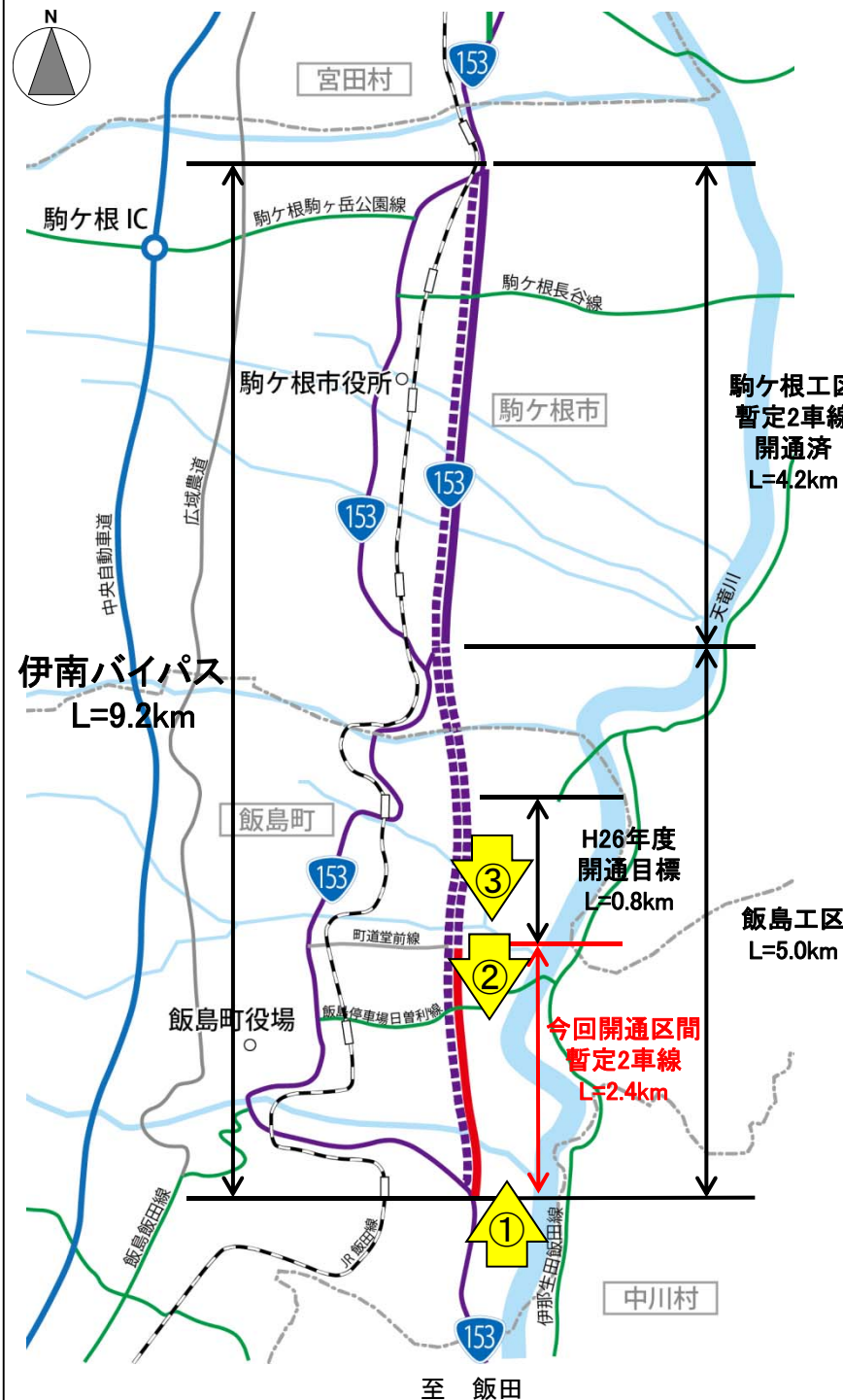
# 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線） 開通区間の概要

別紙 1

- 伊南バイパスの飯島工区（約5.0km）のうち、飯島町本郷～町道堂前線の区間（約2.4km）が、**平成24年12月22日（土）**に開通しました。
- 伊南バイパスのうち、駒ヶ根工区（約4.2km）は平成19年12月に暫定開通済です。
- 引き続き、伊南バイパスの全線暫定開通にむけて整備を進めてまいります。

## 伊南バイパス位置図

至 塩尻



■ 写真①：伊南バイパス起点  
（本郷中央交差点）



■ 写真②：県道飯島停車場日曾利線との  
交差点（飯島駅東交差点）



■ 写真③：町道堂前線との交差点  
（石曾根交差点）



<凡例>

今回開通区間	
暫定2車線開通済区間	
県道	
市町村道	
中央自動車道	

# 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線） 利用状況

別紙2

- 今回開通区間の開通3ヶ月後の交通量は約3,900台/日でした。
- 現道153号の飯島町中心部では、交通量が約2,800台/日減少しました。

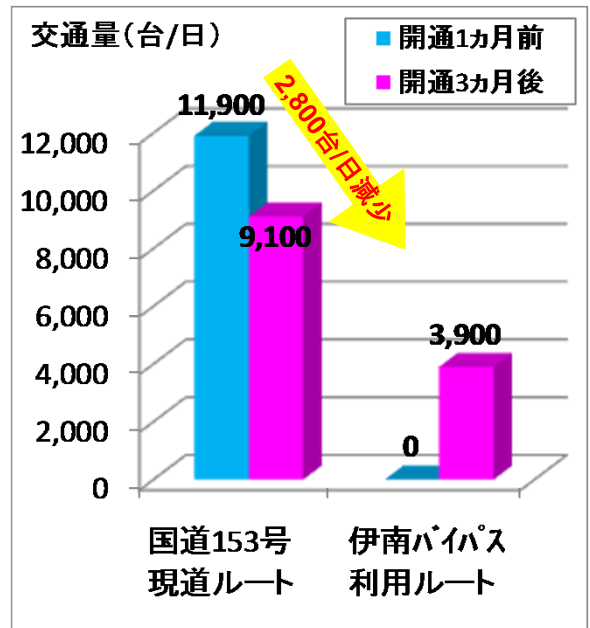
## <国道153号周辺の交通変化>

- 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）  
暫定2車線開通前後の交通の変化

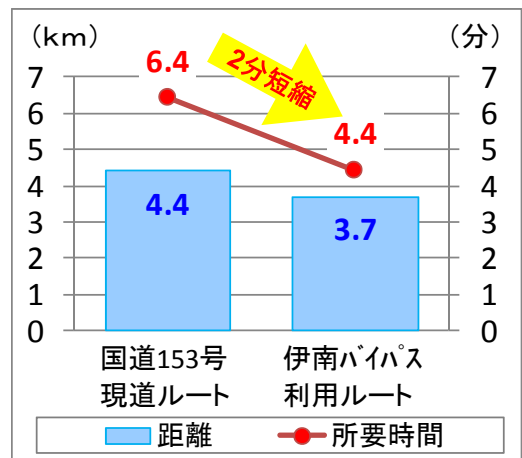


- 凡 例
- ↔ 現道ルート
  - ↔ 伊南バイパス利用ルート
  - ★ 交通量観測地点

- 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線）  
開通前後の交通量の変化



- 現道153号ルートと伊南バイパス  
利用ルートの所要時間比較



調査データ: H25.1.23所要時間調査

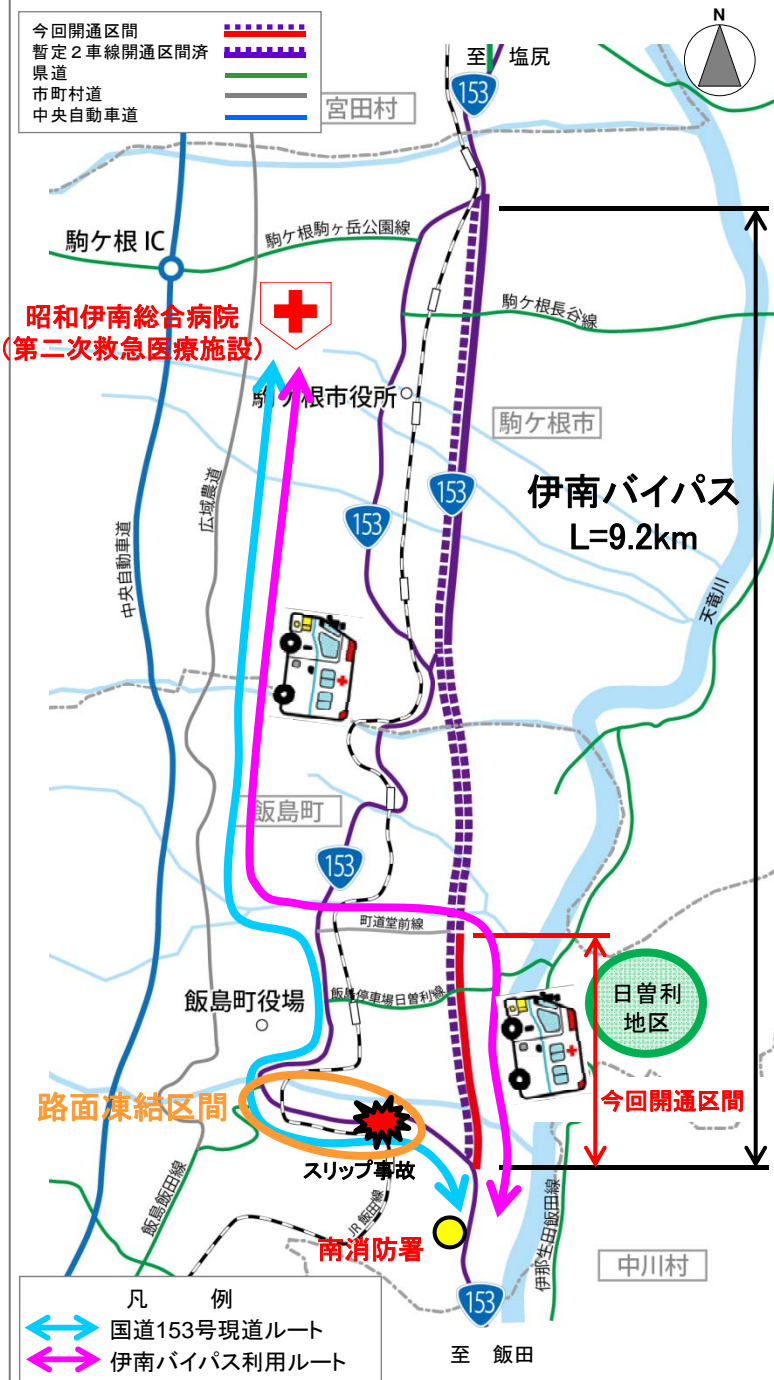
※交通量: 開通前: H24. 11. 21 (7:00) ~ 翌日 (7:00)  
開通後: H25. 3. 13 (7:00) ~ 翌日 (7:00)

# 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線） 開通効果①（救急医療活動の支援）

別紙3

- 医療活動に要する時間の短縮、救急車内での確実な治療が可能になるなど、救急医療活動の支援に繋がっています。
- 冬期に路面凍結する区間を回避でき、安心して救急車を運転できるようになっています。

## 昭和伊南総合病院までの搬送経路



## 伊南行政組合消防本部南消防署の声

- バイパスの開通により、現地への到着時間、病院への搬送時間ともに確実に短縮された。短縮時間はわずかではあるが、救急搬送としてはとても大きい。
  - 特に天竜川東側の日曾利地区へは一旦、飯島町中心部を経由しなければならなかったがバイパスが出来て大幅に現地到着時間が短くなった。
  - 現道153号はカーブ区間があるため、救急車内で治療を行う際には停止することがあった。バイパス区間ではそのようなことは少なくなった。
  - 平成25年2月に、凍結によるスリップ事故で現道が4時間程度通行止めとなった。（別紙4参照）バイパスがなかったら、救急搬送で困るところだった。
- この区間は、1日中、陽が当たらないので、冬期の走行には注意が必要になる。

## <現道153号の路面凍結状況>



# 伊南バイパス（飯島町本郷～町道堂前線） 整備効果②（安全な交通の確保）

別紙4

- 現道153号は、伊那谷特有の河岸段丘で急激な起伏やカーブが多く存在し、冬期には路面が凍結し、事故が多く発生しています。
- バイパスの開通により現道の急激な起伏やカーブ区間を回避でき、安全な交通が確保されました。
- バイパス開通後の平成25年2月に、現道でスリップ事故が発生し、4時間にわたり通行止めとなりましたが、バイパスへの迂回で大きな混乱はありませんでした。

## 国道153号の道路状況



■ 現道153号の状況写真  
<写真①：急カーブ区間>



勾配がきつく、急カーブ区間の路面凍結状況

H25.1.15撮影

<写真②：路面凍結による事故状況>



凍結による大型貨物のスリップ事故  
この事故の影響により4時間にわたり  
国道153号は通行止め

H25.2.5撮影

### ■ 地域の方の声



● 現道は、陽が全く当たらない場所があるので雪が降れば路面が凍結して危険だった。雪が降ると、車が全く進まなくなることあった。

● 大型車がスリップした事故があり、通行止めになったがバイパスがあったおかげで大きな混乱がなかった。

